

今月の名言

「200に到達するには、199までの積み重ねが大事だった。」
元メジャーリーガー イチロー

「スマート農業実証試験」実施

大崎上島地区において、「スマート農業実証試験」が行われております。通常、ドローンの防除試験を主に実施しているなか、令和2年1月17日に、運搬軽減を目的としたアシストスーツ着用試験が実施され、問題点や改善点について、メーカーと調整を行いました。同月20日には、農業・食品産業技術総合研究機構(国の機関)により、スマート農業の取組み内容について動画撮影が行われました。
スマート農業実証試験は令和2年度まで実施します。



第15回「豊町産業文化祭」開催 in安芸灘交流館

令和2年2月8日(土)～9日(日)に安芸灘交流館(豊まちづくりセンター)において「豊町産業文化祭」が開催されました。開催中は天候に恵まれ、パザー展示販売会や催し物等、多くの人の参加により盛大に行われました。
併せて、大長果樹研究会が主催する「果実品評会」が開催され、温州みかんとレモンなど中晩柑類が出品されました。糖度、酸度、外観ともに優れた力作が多数出品される中、優秀者には賞が贈られました。



「農業塾」開講

令和2年1月23日(木)、大崎上島町管内を対象とした農業塾開講式が行われました。1月から1年間、「果樹コース」「野菜コース」に分かれ基本管理の講義を行います。開講式後、担当者から土づくりについて講義を行いました。今年果樹コース18名、野菜コース16名が受講されます。



第7回「大崎上島町産業文化祭(すみれ祭り)」開催 in大崎小学校

令和2年2月15日(土)～16日(日)に大崎上島町の大崎小学校において「大崎上島町産業文化祭」が開催されました。管内の商店や各種団体による展示販売・食べ物販売など盛大に行われ、JAも参加いたしました。
武道館においては、JA女性部による外浜うどん販売も大盛況で、農産物品評会も行われ優秀者には当JA組合長賞等が贈られました。



第150号

令和2年3月

編集発行
JA広島ゆたか総務部

1月末実績

期首組合員数 5,142人
出資金額 5億4807万円
貯金残高 281億2684万円
貸付金 5億9950万円
供給高 9億1450万円

いつも当JAのご利用有難うございます。今後も役職員一同、誠心・誠意にいたしますので、今後ご利用のほどよろしくお願い致します。



主な行事報告

1月4日 新年互礼会
1月21日～22日 アイル監査法人期中監査
1月29日 第10回 理事会
《協議事項》
第1号議案 営農座談会の開催について
第2号議案 農産販売方策について

《報告事項》
1、荷受け・販売状況について
2、共済・年金の推進状況について
3、内部監査結果報告について
4、内部監査品質評価について
2月7日～18日 営農座談会
2月8日～9日 豊町産業文化祭
2月15日～16日 大崎上島町産業文化祭

期間中に実施された農業クイズの答えです！

- ① レモンの生産量日本一の県は広島県 答え○
- ② おいCベリーという品種のイチゴはある 答え○
- ③ トマトの赤い色のもとβカロテンでなくリコピン 答え×
- ④ 石地温州は呉市倉橋島で発見された品種 答え○
- ⑤ 種もみ一粒から、順調に育つとおよそ茶碗1杯分のお米ができる 答え○

以上でした。皆様は何問正解できましたか？

3月の柑橘園作業指針

J A 広島ゆたか営農販売課

【1】葉面散布（みかん・レモン）

温州みかんは不作が予想されるため、花芽分化促進目的で葉面散布を行う。
レモンは着果過多により樹勢低下しているため、樹勢回復目的と充実した花芽の確保を目的に葉面散布を行う。

* 樹勢衰弱が著しい樹は尿素 600 倍とする

* 春マシン油の散布時に混用できる

散布資材・倍数	18% (1斗) 当たり	100% 当たり
ホスポン 500 倍	36 g	200 g
+ 尿素 300 倍	60 g	333 g
+ 万田 31 号 10,000 倍	1.8 cc	10 cc

【2】春マシン油の散布

ハダニの発生を抑えるため、冬マシン油を散布していない園地は、散布を行う。

< 散布時期 >

3月上旬～4月上旬（かいよう病防除を行う場合は、3月上旬に散布する。）

< 散布薬剤 >

散布薬剤・倍数	18% (1斗) 当たり	100% 当たり
アタックオイル 又は、ハーベストオイル 80 倍	225 cc	1250 cc

* 4月に散布する場合は、希釈倍数を 100 倍とする

* 樹上に果実がなっている場合は散布しないこと

【3】かいよう病防除

暖冬によりかいよう病菌が越冬しやすく、今後増加しやすくなるため、防除を徹底する。

< 散布時期 >

3月下旬～発芽前

* 春マシン油散布後、14日以上間隔をあけて散布する。（薬剤の付着量確保）

* レモンは、収穫及びせん定後に散布する。（多発園は収穫出荷を早めに切り上げる）

< 薬剤防除 >

散布薬剤・倍数	18% (1斗) あたり	100% あたり
I C ボルドー 66D 40 倍	450 g	2.5 kg

* 散布が発芽後になる場合は、新梢の葉ヤケを防ぐため I C ボルドーは 80 倍とし、アピオン E 1000 倍を混用。

【4】3月肥（春肥）の施用

発芽、開花など初期生育に必要な養分補給を目的に施用する
肥効を上げるため、気温が上がり始める3月下旬に施用する

* 3月肥 施肥例

10a・収量200ケースあたりの施肥量

銘柄	極早生	早生・普通	いしじ	高糖系	中晩柑	レモン
農協配合晩柑みかん	6 袋	4 袋	5 袋	4 袋	5 袋	5 袋
元気 200			3 袋		6 袋	6 袋

* 詳細は3月肥特報を参照

【5】せん定・間伐

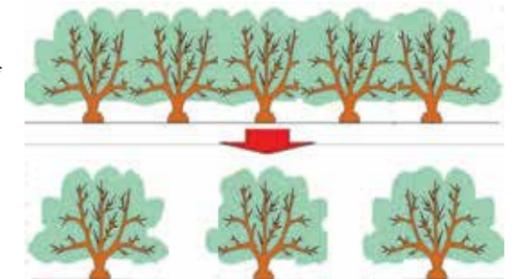
冬期の気温は平年より高く推移し、中晩柑類では直花果割合が高まり、果実肥大に影響するため、せん定は全園実施し有葉果の発生を促す。

温州みかんは不作傾向の樹が多いため、せん定を遅らせる。

作業性の悪い密植園は間伐を行い作業性を改善する。

(1) 密植園の間伐

密植園はせん定だけでは、改善しにくい場合が多いため、間伐を優先して行う。



(2) 樹形改造

ヤノネやサビダニが発生した枝は除去し、薬剤のかかりやすい樹形にする。



(3) みかん

○ 昨年豊作樹は着花確保のため、花を確認できる時期から行う。

(4) 中晩柑類

○ レモン： 防除薬剤がかかりやすいよう、太枝の間引きを行い、枝と枝の間隔を十分に開ける。

かいよう病罹病枝はせん除。

○ はるみ： 本年、着花過多が予想される樹は、樹冠上部を切返す。

○ しらぬひ（デコポン）暖かくなってから行う。

（4月以降でよい）

お問い合わせは 広果連技術員まで
 糸曾技師（上島地区担当） 090-7540-5754
 小川技師（下島地区担当） 090-7540-5751